

志士庫地区公共施設存廃問題 どうなる？コミュニティや避難所



かすみがうら市議会議員みやじま謙活動報告

つばさ通信

第27号

旧・小学校区ごとに避難所とコミュニティ施設を

去る9月21日、志士庫東部・中部地区の住民による旧・志士庫小学校施設の存続を求める要望書が市に提出されました。廃校の利活用が進まない中、校舎や体育館の老朽化は進み、グラウンドの維持管理にも支障をきたしている現状は、他の地域でも同様です。高齢化が進む地域のコミュニティや避難所をどう確保し、維持していくべきか。これ以上の先送りは許されません。

体育館が使えない！

住民が動き出したきっかけは、9月5日の県知事選挙の投票所が、旧・小学校体育館から馬場山公民館へ変更されたことでした。これまで投票所として使ってきた体育館は、すでに電気・水道が止められており、使用できな

くなっていたのです。体育館は今でも避難所として指定されているのですが、実際には使用できません。この地域ではすでに志士庫第一公民館が閉鎖されており、戸沢公園運動広場も廃止の方向が打ち出され、公共施設がすべて無くなってしまう危機に陥っているのです。要望の内容は、校舎と体育館の改修とグラウンドの活用です。校舎は公民館活動に使用し、体育館は避難所、投票所、スポーツレクリエーションの場として使用したい、としています。

千代田地区も同じ問題が

廃校の利活用ができていないのは、ウェルネスプラザに改装した倉庫と、歴史博物館の



老朽化が進む旧・志士庫小学校

る安飾小のふたつ。佐賀小は新しい交渉相手が見れたとのことですが、牛渡小、志士庫小は未定のままです。下大津小は、隣接の公民館とともに解体し、集会施設を新設する方向で進んでいます。千代田地区の学校統合でも、同様の問題が残されることとなります。現存の校舎や体育館を改修するか、下大津小のように解体して新しい施設を建てるか、費用を含めて比較検討する必要があります。しかし少なくとも旧小学校区に一つは、避難所を兼ねたコミュニティ施設が必要です。市の前向きな方針打ち出しが待たれます。

放課後児童クラブでクラスター 旧・保健センターの活用など 4議員連名で申し入れ書提出

新型コロナウイルスが猛威を振るった8月、霞ヶ浦南小学校の放課後児童クラブで、感染クラスターが発生しました。南小の児童クラブは3クラスあり、そのうちの2クラスが隣接の第一保育所を使用しており、そこで感染が広がりました。

第一保育所の教室は児童クラブで使用するには狭く、天井も低いいため、感染抑制の観点からは、適しているとは言えません。支援員の準備室もなく、三密の状況です。

そこで8月17日、矢口、佐藤、設楽、宮嶋の4議員の連名で、近隣の旧・保健センターの緊急活用などを求める申し入れ書を提出しました。ところが回答が得られないため、8月31日の議会初日に、設楽議員が緊急質問を行い、対応を求めました。

しかし市の回答は、「旧・保健センターは空調設備が使用できず、使用は困難」というものでした。窓を開け、送風機やスポットクーラーを活用するなど、対応策はあるはずですが、体育館やあじさい館など、他にも使える場所があります。子どもの命の問題として、緊急に対応すべきであったと思います。



児童クラブが入る第一保育所



隣接の旧・保健センター

フードバンク活動にご協力をお願いします！

【寄付していただきたい食品】 2か月以上の賞味期限があり、常温保存できる未開封の食品
（缶詰、レトルト、乾麺、インスタント食品、米、お菓子など ※新規購入品も大歓迎）
【受付場所】 霞ヶ浦地区：あじさい館入口
千代田地区：千代田ショッピングモール農協そば前 ※いずれも営業時間内





現計画地（下側）と稲吉ふれあい公園（中央）の位置

**要望書受理の4日後に
売買の基本合意書締結**

宮嶋 監査報告書に本件土地の売買の基本的な条件に関する合意書を令和3年5月31日に締結したと書いてある。これは事実でしょうか。

市長公室長 はい、これは事実でございます。

宮嶋 5月27日に1800名の市民から署名、要望が提出されているんですけどね。4日後に合意書を交わしちゃっている。5月27日に出された要望書は、計画を白紙撤回してくださいと、一回止まってくださいと、市民の声を聞いてくださいという内容、これが出た直後

にもう売買の話へ入っちゃっているというところなんです。これはあまりにも不誠実じゃないですか。

市長公室長 皆さんからの要望書が上がる前に地権者さんとは（合意書の）お話をさせていただいて、日程的にはそのういつたご指摘を受けているのも止んどころ得ないとは思いますが、5月31日に結果的には締結したというふうな形になってございます。

宮嶋 だから相手方のスケジュールを優先して、市民を無視したということがありますね。違いますか。答弁をお願いいたします。

**計画の見直し含め、
市民の意向を確認すべき**

市長公室長 決して無視したとは思ってはいません。申し訳ございません。

宮嶋 この監査結果の後半では非常に重要な指摘がなされており、「市民は、このコロナ禍において約20億円を要する複合交流拠点の整備が必要かどうかという点について、も疑問を抱いている。整備予定地の2万9000㎡が真に必要な面積なのか、その用地内においていかに市民に喜ばれる施設をどの程度の規模でどのようなかなど、十分な時間をかけて市民の意見を聞いた上で前へ進んでいくべきものと考えらる。なお、この勧告に沿わずに事業が強行されれば再度住民監査請求等に発展する可能性が非常に高いことを申し添えさせていたかどうか」というのが監査委員の意見なんですね。事業そのものの必要性が監査委員から問われていて、市民の意向を確認してくださいという計画は一旦止めて意見聴取からやり直さなくちゃいけないという、そういう報告だと思っております。

市長公室長 監査結果

2021年9月24日
土地の売買契約の差し止めを求め、水戸地裁へ提訴
※翌25日の茨城新聞で第1社会面で報道される

2021年7月5日
監査結果出る
①市民の希望を調査するための住民説明会を開催せよ
②土地購入契約差し止め請求は棄却
※「2万9000㎡必要か市民の意見を聞け」との勧告

2021年7月5日
土地購入の差し止めを求める住民監査請求出される

2021年5月31日
地権者と土地購入に関する合意書を締結
※市はこの事実を公表せず

市長 市民の皆さんの000㎡でいいよと言ったら5000㎡になるんですか。

市長 そのことはまだ分かりません。

宮嶋 恐らくは、来年の市長選挙で大きなテーマになることは間違いないと思います。場合によっては方向が大きく変わります。

市長 来年の7月市長選挙でございます。完成は大方その先になりますので、市長はちろん完成その日まで市長として指揮を執っていくという覚悟でいらつしやいますか。

市長 この事業につきまして、私が平成30年に市長選挙に立候補した際に事業公約として掲げた事業の一つでございます。そういった中で、皆さんの意見とか思いも受けながら進めてきた事業でありまして、急に始まったわけではございません。そういったことをご理解いただいたながら、市民の皆様の意見を聞きながら前に進めていきたいと考えています。

市長 そのことはまだ分かりません。

宮嶋 恐らくは、来年の市長選挙で大きなテーマになることは間違いないと思います。場合によっては方向が大きく変わります。

市長 来年の7月市長選挙でございます。完成は大方その先になりますので、市長はちろん完成その日まで市長として指揮を執っていくという覚悟でいらつしやいますか。

**土地の売買契約は
市長選の後にすべき**

市長公室長 そういった見方もあるとは思いますが、我々としては進められた仕事を粛々と進めさせていたで、考えてございます。

市長 この事業につきまして、私が平成30年に市長選挙に立候補した際に事業公約として掲げた事業の一つでございます。そういった中で、皆さんの意見とか思いも受けながら進めてきた事業でありまして、急に始まったわけではございません。そういったことをご理解いただいたながら、市民の皆様の意見を聞きながら前に進めていきたいと考えています。

市長公室長 内部のほうで検討させていた上で、住民の意向調査については詳細に固めていきたいと思っております。

宮嶋 ぜひともしっかりと時間をかけて市民の意見を聞いていただきたい。

市長公室長 そういった見方もあるとは思いますが、我々としては進められた仕事を粛々と進めさせていたで、考えてございます。

市長 この事業につきまして、私が平成30年に市長選挙に立候補した際に事業公約として掲げた事業の一つでございます。そういった中で、皆さんの意見とか思いも受けながら進めてきた事業でありまして、急に始まったわけではございません。そういったことをご理解いただいたながら、市民の皆様の意見を聞きながら前に進めていきたいと考えています。

市長公室長 内部のほうで検討させていた上で、住民の意向調査については詳細に固めていきたいと思っております。

宮嶋 ぜひともしっかりと時間をかけて市民の意見を聞いていただきたい。

市長公室長 そういった見方もあるとは思いますが、我々としては進められた仕事を粛々と進めさせていたで、考えてございます。

の中で、「本件土地を購入する契約を締結してはならない」と求める部分については棄却する」というふうなこともございます。令和3年の第1回の定例会では議員の同意を得られておりますので、進めていきたいというふうな考えてござい

市長公室長 内部のほうで検討させていた上で、住民の意向調査については詳細に固めていきたいと思っております。

宮嶋 ぜひともしっかりと時間をかけて市民の意見を聞いていただきたい。

市長公室長 そういった見方もあるとは思いますが、我々としては進められた仕事を粛々と進めさせていたで、考えてございます。

2021年1月
『不動産鑑定評価書』出る
2万9000㎡で10億3000万円

2021年2月
現計画が発表される
事業費総額26億円
土地購入費11億円
※坪単価12万5000円。近隣の土地（800坪）が坪5万円で取り引きされている

2021年3月
市議会で土地購入費11億円の債務負担行為を含む新年度予算が賛成多数で可決される

2021年5月27日
1800名の市民から計画の見直しを求める要望書が出される

2021年5月31日
地権者と土地購入に関する合意書を締結
※市はこの事実を公表せず

シリーズ合併への道② 地産地消

地元消費で地域経済の好循環を

大生産地と大消費地

土浦市とかすみがうら市、兄弟のようなふたつの市が合併すると、どんなメリットがあるか。これをテーマにシリーズを進めています。今回は「地産地消」を組上に乗せます。

みなさん、両市の面積は陸地・水面ともに、かすみがうら市のほうが広いのをご存じでしょうか。さらに興味深いのは農地面積です。こちらはなんと、かすみ

がうら市は土浦市の1.4倍もあるのです。農業経営体数も、土浦市944に対してか

すみがうら市は1372と、1.45倍です。

土浦市14万人、かすみがうら市4万人の人口と合わせて考えると、かすみがうら市は農産物の大生産地、土浦市は大消費地ということが言えるのです。

両市の相性は最高

「地産地消」とは、地元で作ったモノを地元で消費するということです。そのメリットのひとつは、地域のお金を外に出さず、地域で循環させる、ということにあります。売り上げや給料、あるいは国からの補助金

などで、せっかく外からお金が入ってきて、

穴の空いたバケツから水が流れて出てしまうように、外からのモノを買うことによって、お金が外に出て行ってしまっただけで、いつまでも経っても地域は豊かになりません。電気やガソリンなどのエネルギー

は、この典型です。そういう観点から、生産地と消費地の両市の相性は最高なのです。

まずは食の地産地消から、将来的にはエネルギーの地産地消にも取り組んで、地域を豊かにしたいですね。

資料：2020農業センサス

TOPICS

霞ヶ浦の天然ウナギでまちおこし！

霞ヶ浦の天然ウナギでまちおこしをしようとした若人がいます。「麦わら村長」と相棒の「りよっさん」です。先日、そんな噂を聞きつけて、設楽健夫議員と共に、天然ウナギ漁の体験に行ってきました。

場所は安食、やや漁期を過ぎた9月でしたが、なんと700グラム級のウナギが仕掛けに入っており、大興奮！もちろん、その場でさばいて炭火で焼く天然ウナギの味も最高でした。

麦わら村長は、「子どもの頃はやんちゃで、ずいぶん迷惑をかけたんで、地域活性化で恩返しをしたい」と話します。ウナギの漁が体験できる場所として、美味しい天然ウナギの名所として、地域物産の販売所として、地域に根ざした活動を目指しているそうです。応援したいですね。Youtubeで活動の様子が観られますよ！



元気で明るい麦わら村長（左）

秋空を駆け抜ける

「地元で汗を流す人」カー

みなさんは、もう遭遇されましたか？ 青地に赤文字の「地元で汗を流す人を育てる会」の車です。地域のためにしっかりと汗を流して頑張る政治家を育て応援するために、この秋、地域をめぐる予定です。見かけたら、ぜひ応援してくださいね！



市民相談なども受け付けています

明日への思い

より多くの市民の皆さんと接し、生の声をうかがい、政策に反映させたい。そんな思いから、稲吉地区に後援会連絡所を開設しました。誰でも気軽に立ち寄って、おしゃべりなどを楽しんでいただける場所として、多くの皆さんに親しんでいただけるとうれしいです。ぜひお立ち寄りください。

【所在地】

かすみがうら市稲吉5-19・20（イズミヤ稲吉斎場すぐ横です）

かすみがうら市と土浦市
力を合わせて未来を拓こう！



めざせ
2030年合併！